

9 経営発達支援事業

I 地域の経済動向調査【指針③】

1 経営発達支援事業の内容

〈大野地域の経済動向調査〉

【実施内容】

広島県や廿日市市等からの情報、(株)日本統計センターの「市場評価ナビM i e N a」などを活用し、大野地域の特性を把握。さらに詳細を把握するため、主要業種別に会員アンケートを実施し、経営指導員を中心に聞き取り調査を行うことにより会員事業者カルテを作成するとともに、観光関連産業の地域内の経済動向を分析する。また、業種別の調査・分析の結果などはビジネスモデルとして商工会に常備して、経営指導員の経営改善指導の際に活用するとともに、定期的に商工会だより・会員ニュース・ホームページ等に掲載し、地域・会員等に周知することにより、新商品開発や新規創業・第二創業を考える事業者の発掘に資する。

平成27年度実施報告

平成27年度に以下のアンケート調査を実施し、会員事業者カルテの作成を行った。

【調査目的】観光関連産業の地域内動向を把握・分析する事を目的に調査を実施した。

【調査方法】配票調査法

【調査対象】大野町商工会普通会員事業所：539社（平成27年12月2日時点）

【調査実施期間】平成27年12月～平成28年1月

【有効回収件数】調査票回収件数：244社（有効回収率45.3%）

観光客に関する調査回答数：45社（有効回収率8.3%）

回答事業者の内訳(日本標準産業分類-大分類別)	
A農業、林業	1
D建設業	1
E製造業	5
H運輸業、郵便業	1
I卸売業、小売業	17
K不動産業、物品賃貸業	2
M宿泊業、飲食サービス	15
N生活関連サービス業、娯楽業	1
Rサービス業（他に分類されないもの）	2

【アンケート調査内容】

- ・お客様用のトイレや休憩場所の状況
- ・観光パンフレットなどの配備状況
- ・観光客の利用者数
- ・観光客の滞在日数
- ・土産物などの購買金額状況
- ・外国人観光客への対応状況
- ・コミュニケーション
- ・異文化理解 など

【今後の展望】

平成28年5月より当商工会でも「市場評価ナビM i e N a」の利用が可能となるため、本調査により収集した情報と併せてより充実したデータをもとに分析・加工する。公開できる情報は、商工会だより、会員ニュース、ホームページ等で提供する。

【課題】

当初、収集した情報は広島県商工会連合会が提供している「基幹システム」への登録を予定していたが、対応するフィールドが無い等の問題があったため、「基幹システム」の事業者IDをキーとして別途ローカルのデータベースソフト（MS-Access）に登録作業を行った。現在、登録先のデータベースが複数に分かれているため、将来的に情報の整合性担保にも問題が発生する恐れがあり、また、登録時に内容ごと登録先データベースを選択する煩雑さがあるため、最終的には「基幹システム」への統合を目指す。

〈経営分析〉

【実施内容】

小規模事業者の経営改善や持続的発展に資するため、経営指導員の巡回・窓口相談、及び「大野地域の経済動向調査」で作成した会員事業者カルテや各種研修会の開催を通じて、個別の小規模事業者の経営分析を行う。専門的な課題等については、広島県や広島県商工会連合会、公益財団法人ひろしま産業振興機構、地域の金融機関などと連携して、専門家派遣を行い、事業者の抱える経営上の課題について、より丁寧にサポートする。さらには、特に新規創業者を主体に、新規加入会員向けの「商工会活用セミナー」を開催し、国・広島県・廿日市市、県連などの各種支援制度等を紹介し、その活用を促すとともに、定期的に巡回訪問し、事業経営持続化のための伴走型の支援を行う。

平成27年度実施報告

商工会活用セミナーを開催し、新入会員を中心とした事例発表等を行い、参加者に向け商工会を窓口とする制度の周知につとめた。また、より高度な相談に対応すべく専門家派遣制度を活用し、年間8件の派遣を行った。この他、広島市産業振興センターの巡回個別相談窓口を活用し、8事業者が専門的指導を受けた。

【今後の展望】

分析の対象となる小規模事業者をピックアップし、その経営状況等を把握し、商品の需要動向やサービスの提供内容などの経営分析を行う。

【課題】

小規模事業者の経営分析をより有効に行うため、平成27年度に作成した会員事業者カルテの出力様式の充実を行うとともに、継続的な情報の更新・追加が行えるような仕組み（体制）づくりが不可欠である。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
巡回訪問件数	1,385	1,292/1,400	/1,450	/1,500
研修会の開催回数	3	4/3	/3	/3
経営分析事業者数	10	10/10	/10	/10
商工会活用セミナーの開催回数	1	1/1	/2	/2

〈需要動向調査〉

【実施内容】

観光庁の四半期ごとの需要動向調査速報や毎月の広島県の各種調査結果の分析とともに、直近の売れ筋商品の動向を把握するため、広島市内中心部にある市町村情報センター「ひろしま夢ぷらざ」や東京・銀座の広島ブランドショップ「TAU」での売れ筋商品の販売状況などを継続的に取得し、その分析を行うとともに、特産品開発特別委員会の開催や、案件により会員ニュース・ホームページに掲載し、会員による商品改良や新商品開発に資する。また、大野地域で提供する商品・サービスの需要動向を把握するため、「ひろしま夢ぷらざ」や「TAU」において、特産品フェアを開催する際、来場者アンケートや聞き取り調査を実施し、会員による商品・サービスの改善意欲の醸成を図る。

平成27年度実施報告

「ひろしま夢ぷらざ」や東京・銀座の広島ブランドショップ「TAU」に情報提供の依頼をした。また、平成28年2月6日、7日に開催された「廿日市まるしえ in TAU」に於いて、アンケート調査の実施を企画した。

（廿日市まるしえ in TAU）



【今後の展望】

宮島口アンテナショップでの売れ筋商品の販売状況等に関する情報を集約し、分析結果については会員ニュース、ホームページ等を通じて定期的な情報提供を行っていく。

【課題】

当初、情報の取得先として予定していた「ひろしま夢ぷらざ」及び「TAU」に於いて、納品業者との関係で販売状況に関する情報公開ができないとのことで、得られる情報が極めて限られる上、継続的な情報取得が困難となった。また、「TAU」でのアンケートも当日のスタッフ要員の不足から実施ができなかった。そのため、情報の入手先が、宮島口アンテナショップに限られることとなり、データの信頼度を高めるため、他の情報を取り入れて補完する等の工夫が必要と思われる。

【実施内容】

小規模事業者の経営課題の解決を図るため、「Ⅰ地域の経済動向調査」、「Ⅱ経営分析・需要動向調査」の調査結果等を踏まえ、廿日市市域内の3商工会（佐伯商工会・大野町商工会・宮島町商工会）と共同で、事業計画策定のためのセミナーの開催や個別指導を強化するなど、事業者がビジネスプランを策定するための支援を行うことにより、伴走型の指導・助言を行い、事業の持続的発展を図る。

平成27年度実施報告

各種団体との連携のもと、「小規模事業者持続化補助金」申請にむけた事業計画作成セミナーを開催し、経営計画策定支援を実施した。結果、当該補助金について30件の申請があり、うち23件の事業計画が評価を受け補助金申請が採択された。補助金を活用し、食料品店が焼き芋機を導入し店頭で販売することで、売上を伸ばした事例など、様々な取り組みがなされた。金融支援では、経営発達支援融資制度について、中四国で初のあっせん実績ができた。

【今後の展望】

事業計画策定セミナーを年2回程度開催し、セミナー参加者を中心に専門家による個別相談を行い伴走型支援の実施。事業計画策定を行った事業者に対して、3か月に1回程度、事業者を巡回訪問し、フォローアップを行う。また引き続き、ホームページや商工会だより等を通じた各種支援施策の周知を行い、事業計画策定の機運の醸成を図り、事業計画の策定を目指す小規模事業者の掘り起こしにつなげる。特に、事業の再構築等を目指す事業者に対しては、「小規模事業者経営改善資金融資制度」の活用に加えて、平成27年度から創設される「小規模事業者経営発達支援融資制度」の積極的活用を助言する。

【課題】

事業計画を策定した事業者に対するフォローアップ体制が十分に整っていないうえ、事務局スタッフの人的リソースも不足気味であるため、事業計画策定事業所に対して、年間を通じて企画するセミナーへの定期的な参加を促す等の工夫が必要である。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
共同セミナーの開催回数	3	3/4	/4	/4
単独説明会の開催回数	3	1/3	/3	/3
事業計画策定事業者数	18	26/20	/20	/20
持続化補助金の活用促進	17	25/20	/20	/20
新融資制度の活用促進	0	1/1	/2	/3
フォローアップ件数	20	25/25	/25	/25

IV 創業・第二創業(経営革新)支援【指針②】

【実施内容】

地域における観光関連産業などのさらなる集積を促進するため、3商工会が連携して、創業希望者の掘起しを図り、廿日市市が開催（産振構・㈱日本政策金融公庫・廿日市商工会議所と共催）する創業・起業支援講座『しゃもじん創業塾』に、その参加を誘引するなど、新規創業や第二創業等の支援を行う。創業後も、巡回訪問等により、伴走型の支援を行う。

平成27年度実施報告

商工会カウンターへのパンフレット設置や、会員ニュース等での情報提供により、しゃもじん創業塾への誘引を行った。また、巡回相談等を通じて6件の創業希望者の掘り起こしを行ない、あわせて創業計画策定のための個別指導を実施した。創業支援により経営計画書を作成することで、創業補助金の採択につながったケースもある。

【今後の展望】

当会が発行する地域向け情報誌「商工会だより」等を通じて、国・広島県・廿日市市・県連等が実施する創業支援策の広報・案内により、創業希望者の基礎的知識の向上を図るとともに、引き続き、『しゃもじん創業塾』への参加を誘引する。また、『しゃもじん創業塾』の参加者等を中心に、金融・税務相談や記帳指導など、経営指導員や専門家による創業計画策定のための個別指導を行うことにより、伴走型支援を行う。そのほか、第二創業を目指す小規模事業者を対象に、国等の各種支援策を活用して新商品開発や店舗改装などを行った先輩経営者等を講師とする会員研修会・意見交換会を実施し、経営改善・革新意識の高揚を図る。

【課題】

創業後の商工会との関わりを保つため、新規創業者に需要が高いサービス提供を行っていく必要がある。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
しゃもじん創業塾の開催回数	5	5/5	/5	/5
創業個別指導の件数	5	6/5	/5	/5
会員研修会の開催回数	1	1/1	/1	/1
フォローアップ件数	5	8/7	/10	/10

V 小規模事業者販路開拓等支援【指針④】

1 経営発達支援事業の内容

【実施内容】

牡蠣・アサリ、もみじ饅頭・木工品、あなご飯などに続く『大野ブランド』を育成していくため、地域資源を活用した特産品の開発を進めるとともに、既存商品や開発した商品の販路を開拓していくため、各種商談会や「ひろしま夢ぷらざ」等に出席・出品する。また、市内での新たな経済循環を創出するた

め、廿日市市が開催している『産業連関強化塾』に会員の積極的な参加を促し、商工業者と農林水産業者の連携や、農林水産業の6次産業化を進めるなどの新たなビジネスの可能性を探る。また、観光客の受入態勢の整備の面では、『廿日市まちの駅構想』を推進し、地域に「まちの駅」を整備していき、高齢者等に優しい『大野ブランドのおもてなし』を実践し、おもてなしの地域づくりを進め、小規模事業者の販路開拓などを支援する。

平成27年度実施報告

開発支援した商品について、宮島ロアンテナショップをはじめ、ひろしま夢ぷらざでの販売を行うなど、認知度向上を図った。また、廿日市市の「産業連関強化塾」については、商工会カウンターにチラシを設置する等、会員の参加を促した。「まちの駅」整備に向けては、全国展開補助金の採択を受け「まちの駅ネットワーク」を活用した、ビジネス展開の調査研究を行った。内容としては、まちの駅の視察を鹿児島県出水市等で開催するとともに、アンケート調査を行い報告書にまとめた。

〈まちの駅の機能〉

休憩機能：誰でもトイレが利用でき、無料で休憩できる。
案内機能：「まちの案内人」が、地域の情報について丁寧に教える。
交流機能：地域の人と来訪者の、出会いと交流のサポートをする。
連携機能：まちの駅間でネットワーク化し、おもてなしの地域づくりを目指す。

（鹿児島県出水市「まちの駅ネットワーク」活用について視察）



NPO 法人さわやか出水女性の集い



武家屋敷（出水麓伝統的建造物群保存地区）

【今後の展望】

特産品開発セミナーを開催し、魅力ある新商品の開発を促進するとともに、開発した商品について「ひろしま夢ぷらざ」「TAU」等、販路の確保までをパッケージとした仕組みを構築することにより、『大野ブランド』（『宮島ブランド』）としての認知度の向上を図る。その内で一定の知名度が出てきたものについては、地域団体商標制度を活用して、『大野ブランド』として商標登録の検討を進める。また、『大野ブランドのおもてなし』として、まちの駅視察の成果を活かして、「まちの駅ネットワーク」ビジネス展開実現に向けた実験的事業を実施する。あわせて、『東京オリンピック・パラリンピック』を目指し、観光客の受入態勢を整備していくため、広島県観光連盟やほかの観光協会等と連携して、業種・地域別に接遇・おもてなし研修会を順次、開催し、観光客に優しい『大野ブランドのおもてなし』として構築し、その認知度の向上を図る。

【課題】

「大野ブランドのおもてなし」としての「まちの駅」推進について、まちの駅の機能（トイレ利用

や無料の休憩所)を持たせにくい業種もあり、より多くの参加を得るために、まちの駅を展開していく各段階での工夫が必要である。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
特産品開発セミナーの開催回数	1	1/1	/1	/1
新商品の開発数	5	2/5	/5	/5
(仮称)廿日市フェアの開催	0	1/1	/1	/1
西ひろしまフェアの開催回数	1	1/1	/1	/1
地域団体商標登録件数	0	0/0	/1	/1
店舗リフォーム件数	0	5/5	/10	/10
まちの駅認定件数	0	0/50	/25	/25
おもてなし研修会の開催回数	0	1/1	/2	/3

I 地域活性化事業

2 地域経済の活性化に資する取組み

【実施内容】

大野地域の調和の取れたまちづくりと地域の一体化を促進していくため、「事業委員会」及び特別委員会の「大野地域まちづくり推進委員会」での議論を基に、広島県・廿日市市が実施する各種事業や各種団体等が開催するイベント・祭りへの協力とともに企画・実施を支援することにより、交流人口の拡大や地域の結束を図る。また、大野中央地域への賑わい施設の実現化を図る。

平成27年度実施報告

平成27年度は以下の事業について参画した。

1. 厳島港宮島口地区整備事業への協力（県・廿日市市）…宮島口推進協議会へ会長が委員として参画。
2. 大野中央地域への賑わい施設の整備への協力と推進（廿日市市）…市担当課との会議に会長・専務・青年部長が参画。
3. JR大野浦駅整備事業への協力…JR大野浦駅整備事業についての意見要望を行った。
4. トライアスロン大会、駅伝への協力…大会実行委員会への参画の他、トライアスロン大会の走路監視員として開催当日のボランティア参加。
5. けん玉ワールドカップ廿日市への協力…大会実行委員会への協賛参画の他、イベント広場への出店協力。

また、地域内で開催する次の各種イベント・祭りについては、それぞれの実行委員会の事務局として、実施計画の策定と、青年部を中心に当日の祭りの運営を行うとともに、新商品などの発表の機会を提供し、地域内だけでなく、域外からの来場者に紹介・販売することにより、そのブランド化や販路拡大に取り組んだ。

(事業内容ーイベント・祭り)

イベント・まつり名	基本開催時期	実施主体	開催目的
大野みんなのまつり 〔小田島公園〕	6月 第2土・ 日曜日	大野みんな のまつり実 行委員会	地域の商工・コミュニティ団体などが一堂に会して、地域商品の販売や各種団体の諸活動の発表などを行い、地域内外の来場者に大野地域情報を発信する。
宮浜温泉まつり 〔宮浜温泉グラウンドゴルフ場〕	8月 最終日曜日	宮浜温泉ま つり実行委 員会	主として温泉利用者等を対象に、宮浜温泉の良さの周知とともに、地域商品の販売などを通じて、宮浜温泉へのリピーターの確保と知名度の向上に資する。
ときめきフェスティバル 〔大野体育館周辺〕	9月 最終日曜日	ときめきセ ール会	ときめき（ポイント）カードの加盟店を中心に、商品の販売等を行い、カードの利用とともに、地域住民の大野地域内で生活用品の購入を促進する。
宮島お砂焼まつり 〔宮島口商店街周辺〕	10月 第3日曜日	宮島お砂焼 まつり実行 委員会	宮島口への来訪者を対象に、お砂焼の手作り体験や茶道・生け花教室などとともに、地域商品の販売を行い、宮島口（商店街）への滞在時間の拡大を図る。
大野かきフェスティバル 〔ボートレース宮島〕	2月 第1日曜日	大野かきフェ スティバル実 行委員会	宮島口への来訪者を対象に、大野の牡蠣・アサリや地域商品の販売などを行い、『大野瀬戸かき海道』のブランド力を高めるとともに販路拡大に資する。

【今後の展望】

引き続き、広島県・廿日市市が実施する各種事業や各種団体等が開催するイベントへの参画を行い、交流人口の拡大や地域の結束を図るとともに、大野中央地域への賑わい施設の実現化を図る。

【課題】

イベントを継続していくための協力者のモチベーション維持が課題である。

事業内容・手段	項目	26年度迄	27年度	28年度	29年度
大野みんなのまつり	出店者数	14	45/15	/15	/20
	来場者数	12,000	12,500/12,500	/13,000	14,000
宮浜温泉まつり	出店者数	10	12/12	/14	/15
	来場者数	1,000	1,100/1,100	/1,200	1,300
ときめきフェスティバル	出店者数	58	20/60	/60	/60
	来場者数	3,000	2,000/3,500	/4,000	4,000
宮島お砂焼きまつり	出店者数	37	40/40	/40	/40
	来場者数	3,000	3,000/3,500	/4,000	/5,000
大野かきフェスティバル	出店者数	26	41/28	/30	/30
	来場者数	15,000	13,000/16,000	/17,000	/18,000

I 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウの情報交換に関すること

3 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

【実施内容】

3 商工会及び県内商工会のうち広島芸南西ブロックを構成する5つの商工会〔広島市・五日市商工会、江田島市商工会、佐伯商工会、大野町商工会、宮島町商工会〕が共同で、定期的に経営指導員研修会や意見交換会を開催し、テーマによっては専門家にも参加してもらい、経営支援事例などの情報交換・共有を行い、支援能力の向上に努める。

平成27年度実施報告

五日市商工会、佐伯商工会と共同で、マル経融資に関する研修会・意見交換会を開催した。また、マスナンバー制度について、5商工会（県連芸南西地域）の研修会に参加した。

【今後の展望】

5商工会（広島市・五日市商工会、江田島市商工会、佐伯商工会、大野町商工会、宮島町商工会）での共同研修会の開催、及び、専門家を招致しての事例発表など、広域での情報共有化に努める。

【課題】

県全域を対象とする研修会が多く開催されており、その場が3商工会・5商工会の職員同士が意見交換等を機会となっているため、改めて実施する機運の醸成が求められる。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
3 商工会共同研修会の開催	0	1/1	/2	/2
5 商工会共同研修会の開催	0	1/1	/1	/1

【実施内容】

全国商工会連合会、県連、広島県商工会職員協議会等が主催する研修会への経営指導員等の積極的な参加に加え、中小企業大学校のマーケティング・販売戦略やその他の研修機関等が実施する販路開拓・売上げ増を目指す実践的研修会へ参加する。また、そうして習得した内容・情報を月1回、全職員による勉強会を開催し、商工会内で共有するとともに、芸南西ブロック等の商工会職員研修会で積極的に発表するなど、経営指導員の指導能力・プレゼンテーション能力の向上を図る。若手経営指導員については、専門家やベテラン経営指導員とチームで小規模事業者を支援することなどを通じて、指導や助言、情報収集方法を習得するなど、OJTにより、伴走型の支援能力の向上を図る。

平成27年度実施報告

指導職員基本研修や、ASP操作研修、ネットde記帳操作研修、経営革新支援研修会等、年間を通じて研修会に積極的に参加し資質向上に努めた。

【今後の展望】

引き続き、義務研修に限らず、職務に有効と考えられる研修への参加を行っていく。

【課題】

研修内容を共有する為の、職員による勉強会が開催できなかった。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
中国ブロック研修会の参加	0	0/1	/1	/1
職員協議会研修会の参加	2	2/2	/2	/2
中小企業大専修校研修会の参加	1	0/1	/1	/1
商工会内勉強会の開催	0	0/10	/12	/12

【実施内容】

本計画に記載の事業の実施状況及び成果については、毎年度、事業評価委員会により、評価・検証を行う。

平成27年度実施報告

商工会内に、三役、各部長、監事、廿日市市、広島県商工会連合会、外部の有識者を交えた事業評価委員会を設置し、年度中途での事業の経過・進捗状況の報告を行った。

【今後の展望】

年度終了後、事業評価委員会を開催し、結果報告、成果・評価、見直しを行う。また、審査結果を理事会・総代会に報告するとともに、広島県・廿日市市へ報告する。事業の実施状況・成果などについては、地域の小規模事業者の閲覧に供するとともに、商工会だより・商工会ニュース・ホームページにより、会員事業所及び地域住民に周知する。なお、年度中途の経過報告において、進捗状況が十分でない項目がある場合は、「事業委員会」を開催し、年度後半の事業実施の強化を検討するとともに、翌年度の事業計画の見直しや事業促進に反映する。

【課題】

PDCAについての評価を行うための報告書のフォーマットについての改善が求められる。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
事業評価委員会の開催	0	2/3	/2	/2
商工会だよりの発行	(2)	2/2	/2	/2
商工会会員ニュースの発行	(8)	5 (随時)	(随時)	(随時)
ホームページへの掲載	0	0 (随時)	(随時)	(随時)